

レンジャ訓練に関する駐屯地交渉 緊急報告

練馬平和委員会 坂本茂
2012年5月30日

陸上自衛隊 第1師団広報班長 林 雄久 殿

2012年(平成24年)5月29日午後6時半より1時間50分の交渉
陸自レンジャ訓練の変更を求める板橋・練馬実行委員会(仮称)
〒176-0023 東京都練馬区中村北1-6-2 東京土建練馬支部会館 練馬労連内
Tel:03-3825-7146 fax:03-3825-7117

陸自:林1師団広報班長 藤間練馬駐屯地広報班長
参加者:弁護士・主婦・前都議・労組・平和団体など7名

再回答と諸意見(太字)

先日はレンジャに関する陳情の対応感謝申し上げます。
5月29日に林様からお聴きする中身を整理しましたのでご覧ください。
5月16日のお話し合いの中で林様が私たちに対して「調べる・検討する」といった中身を列挙しましたのでご覧ください。

- 1、 今回の「レンジャ訓練」は約3ヶ月に及ぶ過酷な過程の最終日と推測されます。食事もまともにとらない疲労蓄積と睡魔の重なった極限状態のレンジャ隊員が駐屯地や演習場以外の市街地である通学路や商店街を徒歩行進訓練する目的を教えてください。

林「目的は、いざのときや災害など、演習場や駐屯地だけではすまない、実質的に部隊以外の民有地も慣れていくことも重要のため訓練を設定した」

参加者「何を想定しているか」

林「承知してない、想定があるなしを調べる」

参加者:いざとは何をさすか。

林:いざとは戦争や災害だ、テロはちょっと、いざは命令を帯びて出るときがいざだ。

参加者:今回の訓練は何を想定しているか。

林:想定は無い。

参加者:理由がわからないわ、駐屯地のフェンスの中なら理解できますので中で行進やっていただけませんか。

かつて、朝霞駐屯地から隣の道路一本隔てた訓練場までの間、学校の脇を通り銃を持って行進していた、お母さんたちの強い要望は朝日・毎日新聞などマスコミを動かして子供たちの目に触れないよう外での訓練を中止をした経過もあり、内灘町でもコース変更した事例がある。

林:関係部署に伝える。

参加者:不安がつる行動だ、公道を使った行進の変更せよ、5月16日にあげた陳情書は防衛省へ届いているか。

林:届いているはずだ、5月16日に上級の東部方面隊(朝霞)のあげている。

参加者:訓練の必要性から税金使って基地外でやるわけですからそうとうな必要性が高いからやるのでしょうか

林:①市街地でなれる②アスファルトの上を歩くことだ。非常に厳しく気力・体力の錬成だ。

参加者:観閲式を実施する朝霞訓練場にあるアスファルトは広大な面積だ、飛行機の離着陸や戦車の走行も可能だ、毎日隊員はその上を走っているではないか。思いザック背負って銃剣を携帯し、7キロくらい徒歩訓練は可能だ。何故利用しない。

住民に多大な迷惑をかけて戦争を含めた訓練なんでしょう、想定が無いとは。

林:どこから敵が攻めてきてなんという想定は無い。

参加者:陸上幕僚部作成の教科書を読んでいるのか。

想定が無い訓練は必要ではない、朝霞や全国で実施している日米指揮所訓練も敵の想定

がある、想定が無い訓練なんてありえない

林 : そういう訓練もある。

参加者 : 住民はそのような話では理解できなし。

戦争も災害も同列の訓練なの、災害訓練だったら鉄砲要らないわ、でしたら今回の訓練おやめになって。

想定が無い訓練は無駄使いだ。無意味だ。

基地の中にもアスファルトいっぱいある。市街地を選ばれた理由はアスファルトのほかになに。

林 : 市街地に慣れるため。

参加者 : 日常的に人が通ったり車が走ったり会社や学校があつたり

林 : いろんな曲がり角があつたり、坂道、市街地が第一、2番目がアスファルトだ、気力体力を使って。

参加者 : 市街地の状況は過酷なんですか。ジャングルなんかより、想定は無いがいろんなところで体験させたい、日本中どこでもやるんですか。市民がこうやってお話を聞きに来ていて、迷惑だなあと、何かあつたら困るんで不安持っている基地の中なら想定無くともいいかもしれないが、外でやるいじょうは想定しなければなららいいでしょう、住民の納得答えがあればいいが、今のお話は全く理解できない。

4、住民の不安解消する方策をどのように講じるのか教えてください。

参加者「出発地点の周辺の企業の業者などにもお知らせするのか、通学路、学校PTA、安全係つけるだけでよろしいか」

林「検討して調べる」

藤間「私は5月1日に北町1丁目町1部・2部会長に、5月7日に第1普通科連隊長が北町2丁目会長の村上さんへ直接行った、板橋区の町内会長には行ってない」

参加者「練馬区内の町会長に行って、何故板橋区内の町会長にいてないのか、非常識だ、通るところにはすべて伝えよ、やってくれるね」

林「検討する」

林 : 板橋区に5月28日より20町内会長へ通知を出し始めた。保育園や小学校には伝えない、自治体へ通報してるから。

参加者 : 保育園のお散歩の時間だや小学生の登校の時間帯を想定しないでどうする。レンジャーの教科書は事前にどこに小学校・保育園、隊員の不測の事態に備え病院まで調べチェックせよとなっている、学校・保育園、佐川急便など民間の会社、商店街に何故周知できないのか。ヘリで落ちて汚したらどこへ搬送するか。ヘリコプターの機種は、30秒で飛び降りるんでしょう、怪我したら大変。

林 : パートル(中型ヘリ)1機だ。飛び降りない。

参加者 : 中型ヘリは26人乗務だ。30人乗ったら法律違反、危険だ。いただいた資料の絵は大型輸送機だ。これなら50人はゆうに乗れる。

林 : パートルだ。レンジャ部隊ですから。

参加者 : 話にならない、違反を承知して実行するのか。板橋区は練馬駐屯地から、国会では背広からヘリから飛び降りると説明を受けているが、矛盾する。

林 : 飛び降りない。

参加者 : 練馬区内は5月1日から板橋区は昨日から。周知が大変遅れている理由はなにか。

林 : 町内会が把握できなかった。

参加者 : 町内会探すのにそんなに時間かからない。

私も町会役員だが、回覧板の周知も大変、時間がかかる。町内会を理解してるか。

先日強行した大砲の発射訓練も観閲式のヘリコプターの集団低空飛行も苦情が役所や駐屯地にも沢山来たでしょう。

今回の距離長い。広範囲だ。距離が長い板橋区内が何故遅れたか。町内会がわかりませんでしたは通用しない。周知はいつまでやるの。

林 : 6月1日までにはやりたい。

参加者：無理ならおやめになって。

- 5、 「レンジャー訓練」は「訓練」と銘打ったプラカードやのぼりを掲げ車道を使用すると推測します。警察官やパトカーなどが周囲を警備し、何らかの事故・事件が発生した際の対応策、緊急連絡先の整備の配慮をどのようにするのか教えてください。

林さん「警察の指導をもらっている」

参加者「警察署へ道路占有許可書申請書は要らないのか」

林さん「調べる」

林「警察から①最短距離を歩く②一方通行（北町商店街や舟渡大橋周辺などが該当する）の道路のところはサイレンを鳴らして通ってください③歩道がなくて車道を行進するときは左側を通行してください、という指導だ。制服の警察官がつく。コースの許可申請については調べる」

参加者「警察は3点をクリアーしろというのですね、自衛隊はクリアーしてますと回答したのか」

参加者「サイレンとはどのようにどこを行進するとき使用するのかどのようなものか具体的に教えて、警察は行進の前後や横に配置するのか」

林さん「調べる」

林：サイレンまちがってみなさんへ報告した

参加者：あなたがそういうからビラつくって配っちゃった、どうする。

林：警察の指導は「サイレンはもし緊急患者が出たとき車両で一方通行を逆送する場合にサイレンを鳴らしてください」でした。

参加者：そんなこと世間の常識でしょう。車両つくのか。

林：緊急搬送する患者が出たとき、自衛隊の車両で待機している

参加者：本当に警察と打ち合わせしてるの、光が警察のどこ部署と話し合いしているか。

林：いえない

参加者：コースを選んだのは自衛隊でそのコースを警察が認めたのでしょ、警察は自衛隊がやるから関知しないのでは無いか、「安全を守ってやるんでしょ」くらいなの。光が丘警察の警備係長に聞いたらくよく分からんといっていた。

林：行進にパトカー出すかは警察にお任せしてある。警察は付きますよ。

参加者：防衛省の背広組は警察はつかないと国会のレクでは言った。

行進の前後に付く自衛隊の安全係はプラカードを持つのか

林：プラカード・・・何か表示はする。

警察に道路占有許可書は出す必要はない。

参加者：おばあちゃんが歩道歩いていて座り込んでいたらどうするの。

林：住民優先だ。隊員の生命にかかわる事態には住民の迷惑にならないようにする。

参加者：間違いなく目的地の駐屯地まで着くのか。止まっている人いたらずっと待ってるのか。

林：臨機応変に。

参加者：住民最優先だというのが、様々なことが分からない回答だ。完全に周知も出来ないで日常生活しているのですから、それをどうすると言ったとき「まだどうするか分かりません」では困ります。目の不自由かたもちいさな子供もいる、様々な状況が考えられる、安全が確保できなければ止めてもらうしかない、自衛隊は「どうしてもやるんだ」という。住民の不安はビラを配布していて十分感じた。こういうふうにするという回答してもらわなければ不安です。

僕も、駅前には通勤に使う。朝の忙しいとき狭い歩道を2列で30人も歩いていたら邪魔だ、どいてといえどいてくれるの。どいてといえど住民優先ですからどくのですよね、それで訓練になるの。教えてください。

行進は危ない、回答が無ければ訓練すべきではない、考えていただきたい。

この前も言ったでしょう。具体的に回答してくださいと、考えてこなかったのですか。具体的にこういうときはこうする1問1答みたいな。具体的にこうすれば住民が最優先になるということを知りたい。

- 6、 今回実施する「レンジャー訓練」の第1普通科連隊レンジャー教育隊はいつ発足し、どのような組織編制なのか、今回30名は3個中隊編成の1個小隊として編成されているのか、臨時のものか教えてください。

参加者「いままで商店街で徒步行進しなかったのになぜ39回目で始めて徒步行進するのか意味を教えてください」

林さん「調べる」

林 : 過去、違うコースの市街地でもレンジャー訓練やっていた。昭和42年(1967年)~昭和45年(42年~45年前、4年間)だ、年1回だと思う。

参加者: 防衛長官も首相も知らないで制服主導で秘密の研究をした1964年の三矢(みつや)作戦の直後では無いか。何故今、訓練なのか長い間何故やらなかった。

林 : 繰り返すが、アスファルトと市街地になれるためだ。

参加者: 今回必要になった理由を示せといってるのだ

林 : 慣らせることが必要だ。

参加者: 答えがないってない納得するような説明をせよ。

人通りの激しい街中での訓練かつて無いことだ、周辺住民も初めて。長く住んでいる人も聞いたことがないといっている。

- 7、 板橋区危機管理室防災危機課によれば昨年(平成23年)練馬駐屯地からお台場まで100名から300名規模の自衛隊員による夜間の徒步行進訓練を実施されたと情報提供がありました。昨年の訓練は今回同様練馬区役所など所管の警察署へも練馬駐屯地から情報提供したのか実施内容も含め教えてください。

林さん「区などすべて伝えた。250名だ、武器持ってない、防災訓練荒川河川敷から木場公園まで約30キロ」

(町会へ配布した資料から)

林さん「東富士弁当場(馬返し)とはヘリコプターの発着場と思われる」

参加者「当日の連絡先は教官となっているが、教官は当日現場のはずだが、当日の担当官を明確に。住民からの質問に統一して回答してください、車道・踏み切りの遮断機がしまったとき・赤信号・ヘリコプター降り立って・一つ一つ想定して細かく決めてください、歩道における住民への安全対策は、いざのとき民有地を行動するとは有事を想定した戦闘訓練か」

林さん「問い合わせ担当など調べる」

参加者「来週再度調べるといったことについて回答を聞きに来る、夜間になる、駐屯地司令業務室長へ連絡する」

林さん「前もって連絡をしてくれれば受ける」

林 : 当日の連絡先は第1師団広報に変更する。

参加者: 今回も前回もそうだが分からない人が担当では困る、立案した方などしかるべき人を担当にせよ。

林 : 昨年の件だが、訓練は7月25日未明から26日、武器は所持してなかった。名称は「平成23年度防災訓練」第一普通科連隊が担当した。6月中旬から通知は練馬区も含め各自治体へFAXで流しや電話で確認した。

参加者: 前回の災害訓練で1ヶ月前修理していたのに、今回は武器を所持して迷彩顔で商店街を真昼間行進する、前回とは様相が全く違う。周知の仕方ひどいのは無いか。

林 : 回答するかしないか考えさせてくれ。

参加者: 安全に行進するためこういうものを造りましたということを教えてください。

明日か、あさつてに教えていただきたい。急を要する。

会の事務所へ電話かFAXでお知らせください。

①情報周知が大変遅れているが今回の追求で板橋区町内会にも伝えますということになった、早急にやらなければ意味が無い②住民の安全を最優先しますよと具体的に言って欲しい、そうすれば安心する。もう少し検討して欲しい。不安がますます大きくなってしまった。急いで具体化を示していただきたい。

林 : 相談する

7項目目の昨年実施した行進について林さんは区などすべて伝えたとお話されました。

私たちは5月16日、練馬区総務部総務課総務係長の我孫子さんに相談しました。5月25日安孫子係長に確認したところ危機管理室や安全安心担当などあらゆるところを探してみたが存在しないということでした。昨年いつ練馬区のだこの部署へFAXを送付したのかお教え願います。5月29日、私たちが練馬駐屯地へ伺ったとき昨年区などに伝えたという文書を準備していただくことを要望します。以上、よろしく願い申し上げます。